

各地域の実践から学ぶⅢ

内島 くに子 (佐倉市)

日 時 : 2017 年 6 月 4 日 (日) 10 : 00 ~ 15 : 00

10 : 00 ~ 11 : 05 講義 : 「子どもたちにステキな自然体験を！」

・なぜ今 子どもたちに自然とのふれあいが大切か？

・SSN の紹介・自然たんけんラリーの紹介

11 : 15 ~ 12 : 00 自然たんけんラリー参加体験

12 : 45 ~ 14 : 00 自然たんけんラリーポイントでのボランティア体験

14 : 10 ~ 15 : 00 振り返り 友の会と指導員に分かれての交流とまとめの会

場 所 : 21 世紀の森と広場 (松戸市)

参加者 : 147 名 (大人 67 名 子ども 80 名) 指導員 20 名 友の会他 10 名 パーク 4 名

担当指導員 : 渋谷孝子 高橋 節 草野幸子

午前中の座学では、SSN の紹介と東葛しぜん観察会の活動である「自然たんけんラリー」について、これまでの歩みが披露された。

午後はそのラリーを体験するために野外活動へ。小川でザリガニ釣りを楽しむ親子連れを眺めながら、ラリースタート。シロツメクサで指輪を作り、オオバコの相撲に負け、アゼナルコの茎の形クイズ、ハスの葉の出方の形クイズ、ポピーの花の変化クイズ等に挑戦した。虫探しでは、虫網の使い方を教わり、なるほど沢山の虫をゲットできた。稲のはさかけクイズコーナーへ。私はおだかけとおもっていたが、呼び名はいろいろあるようだ。ドクダミ等の葉の匂いを嗅ぎ、嗅覚を刺激する。オトシブミの葉の巻き方をハンカチで作ってみて、虫の力に驚嘆する。最後はしゃがんでゆっくり、鳥の声を聞いた。

昼食後はボランティア体験をした。私は、まだクリアしていない「クワの実たんけん」を選ぶことにした。東葛メンバーの方におおよそのことを教わった後、親子連れに声をかけた。クワの黒い実を親子で捜してもらい、気に入った実を恐る恐る口へ運ぶ大人子どももいて、9割がたが初体験だったが、みなさん美味しいと喜んでくださった。担当の方が「“赤とんぼ”の童謡にもクワの実がでてきますよね」とロズさんでくださった。大人の方には養蚕用のクワとの違いも説明するうち、1本の木でも葉の形がいろいろだということに気が付いてくださる方もいた。繭も数本ぶらさがっており、良い材料になった。探検カードに嬉しそうに○をつける子どもたち、楽しい体験になったことと思う。

帰り道、千駄堀池から吹いてくる風が心地よかった。



クワの実たんけん



ポピーの花クイズ